

令和2年3月10日

宇都宮市長 佐藤栄一様

宇都宮市議会 青心会 会長 渡辺 道仁
緑の未来 代表 出井 昌子
栃木県民こころの会 会長 平松 明夫
新風うつのみや 代表 茂木祐佳里

新型コロナウイルス感染症に関する要望書

新型コロナウイルス感染症による患者が全世界的に増加し、本市においても孤発的ではあるが感染者が認められている。現在、今後の感染の広まりを懸念し政府の責任において対策が講じられているが、市民の生活に密接にかかわる基礎自治体の対応と相補的なものであるべきである。

よって、市は第一に市民に確かな情報を届け行動喚起し、市民・行政・医療関係者が一体となって感染拡大防止、雨量体制の保持に努めるべきである。また、子どもたちの健康保持と感染者を始め濃厚接触者、病状回復者に対するいじめ等風評被害を無くすこと、さらに市内農商工界などにおいても経営危機等が生じ始めており、地域経済維持のための可及的速やかなる行政支援が必要である。

しかるに、現下の新型コロナウイルス感染症による緊急事態に対処すべく、以下の点について強く要望する。

記

1. 感染拡大防止のために感染予防の更なる対策と積極的な情報開示に努める
2. 医療崩壊を防ぐために宇都宮市医師会と協力し、過剰受診の抑制と医療スタッフの保護に努める
3. 子どもたちへの感染予防と心の健康の保持、風評被害に関する対策の強化に努める
4. 中国経済等の影響を受け、受注が大きく落ち込み急速に収益が悪化している本市中小・零細企業及び農業関係者等に向け、早急な融資制度の拡大を含む経営支援策の実施
5. キャンセルが相次ぎ、集客が激減している飲食店等に対する緊急的な経営支援策の実施
6. その他、現下の状況がさらに変化したことを受けて、今後、市民生活に大きな影響が出た場合における各種支援策の速やかな実施